

独立行政法人日本スポーツ振興センター

2 0 1 2
3
Vol.590

国立競技場

NATIONAL STADIUM

- 代々木競技場園地（オリンピックプラザ）の変遷をたどる
～フットサルコート新設を機に～
- 「平成23年度 第9回主要スタジアム情報交換会」報告
- 女子ラグビーの現在、そして未来
- 地震災害に備えて～国立スポーツ科学センター 防災訓練レポート～
- 2012年ロンドンオリンピック通信
- 秩父宮記念スポーツ博物館・図書館／国立登山研修所だより
- JISS徹底解剖～第5回～



味の素ナショナルトレーニングセンター アスリートヴィレッジ連絡通路からの桜

代々木競技場園地（オリンピックプラザ）の変遷をたどる

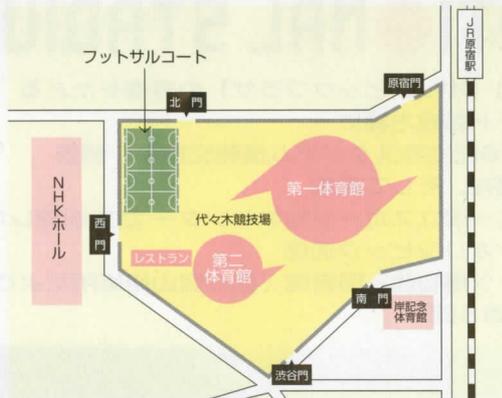
～フットサルコート新設を機に～

国立競技場代々木事業課

はじめに

国立代々木競技場の園地オリンピックプラザA・Bに、フットサルコート4面が新設されました。フットサルコートの詳細は最後に触れることとし、まず、オリンピックプラザA・Bについてご紹介します。

場所は、敷地内の北西に位置し、広さは、プラザA（北側）が約4,500㎡、プラザBが約2,100㎡の園地です。この敷地に新たにフットサルコートが設置されるまで、これまであまり知られていないオリンピックプラザの変遷について、ここで紹介します。



フットサルコート位置図

園地オリンピックプラザA・Bの変遷

●バスケットボール競技ウオーミングアップ場(プラザB)

1964年10月「第18回オリ

ピック東京大会」が開催され、国立代々木競技場の第一体育館は水泳競技会場として、また、第二体育館はバスケットボール競技会場として利用されました。しかし、バスケットボールのウォーミングアップ場が体育館内に無かったため、木製フロアのウォーミングアップ場が屋外園地に設置されました。その後も1967年まで、同様に利用されました。

●子供プール公開(プラザA)

東京オリンピック翌年の1965年8月に子供専用プールがオープンしました。滑り台も設置されて大いに賑わい、初年度から1979年度の間では、1日当たり800名〜1,200名を超える入場者が続きました。



子供プール

者数が減少し始めました。

1990年まで25年間に渡って公開されましたが、1991年、第一体育館のアンカーブロック沈下防水工事のため、この年の公開を中止しました。そして、1992年に、子供プールはサブプール（※注 現室内水泳場。メインプールであった第一体育館に設置された水泳競技会場に対する呼び名。）前の中庭に規模を縮小して移設しましたが、移設後のプールも2000年度を最後に営業を終了しました。

●屋外球技場(プラザB)

1967年8月、それまで木製フロアのウォーミングアップ場でしたが、フロアをオールウエザー舗装に改修し、利用形態もテニス・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール等多目的利用に供する「屋外球技場」として、1981年まで団体利用（単体で団体へ貸出しを行う）に開放されました。

●テニスコート2面(プラザB)

1982年、10月〜12月の間でテニスコート2面が新設されました。都心部の中心に位置し利用料も低廉であり、大学のテニス同好会を中心に利用希望者が多く、第二体育館の休館日に予約抽選会が行われるほどの盛況ぶりでした。2002年までの20年間で約60,000団体、利用時間数124,000時間強、利用者数500,000名強が利用しました。

●文化的行事(プラザA・B)

1990年にプラザAの子供プールが終了して移設された後、1994年に同園地内で「サルティンバンコ」興行（フジテレビ主催）が初公演しました。その後、2000年〜2011年の間、類似イベント興行（サルティンバンコ2000、キダム、アレグリア、ドラリオン、コレテオ、クーザ）等が開催され、大型の特設テントを設置して公演が行われました。

また、芸術性の高かった「アート展」等、様々なイベントも催され、大いに賑わいました。近年では、2010年5月〜7月にかけて、財団法人日本サッカー協会が主催（特別協賛アディダスジャパン株式会社）の「SAMURAI BLUE PARK」があります。南アフリカで開催された2010 FIFA ワ



テニスコート



革命の広場 ©JFA



クーラ会場テント

ルドカップに出場した日本代表チームをファン／サポーターで応援する拠点として使用されました。期間中は、特設のフットサルコートやカフェも設置されるなど、大きな話題となりました。

●イベント時の駐車場
(プラザA・B)

当場の有料駐車場が狭い上、第二体育館の専用駐車エリアは、国際競技大会や大規模イベント時は、留め置き台数が足りないことから、主催者用の駐車エリアとしてオリンピックプラザのスペースを提供してきました。

●フットサルコート新設

これまで国立競技場の施設貸出しに当たっては、スポーツ利用を第一の目的としつつ、支障のない範囲でスポーツ以外のイベントへの貸出しを行ってきました。

しかし近年、興行的イベント等の利用が主流となっていた利用形態を、改めて本来のスポーツ利用の促進に資し、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを行うことを目的に貸し出すため、検討を重ねた結果、オリンピックプラザに新たにフットサルコートを設置することになりました。

●利用開始(プレオープン)

なお、設置工事は2011年11月1日から12月27日まで行われました。年明け1月5日に、フットサル

コートがプレオープンしました。なぜプレオープンなのかといいますと、受付や更衣室機能を備えたクラブハウスは現在設置に向けた準備のため、完成までの間をプレオープン期間としました。

●仕様

利用者の皆様には、仮更衣室(現第5会議室)で着替えていただき、更にシャワー設備もないことから、ご不便をお掛けしていますが、プレオープン以降、徐々に利用が増えている状況です。

●仕様

- (1) ショートパイル人工芝1面 (38m×19m)
- (2) ロングパイル人工芝3面 (38m×19m)

※ロングパイル人工芝3面をつなげて8人制コート1面(48m×68m)としても使用できる仕様になっています。



新設のフットサルコート

●利用形態

登録チーム及びビジターの団体利用とします。

①登録チーム：60日先まで予約可能(登録手数料5,000円)

●利用時間・料金

②ビジター：30日先まで予約可能

プレオープン利用料金

(1時間・1面)

平日	9:00~12:00	12:00~19:00	19:00~23:00
	6,000円	8,000円	13,000円
休日	9:00~23:00 13,000円		

※プレオープン期間中の利用時間は以下のとおりです。

- 1/5~3/31 9:00~16:00
- 4/1~5/31 9:00~23:00

●最後に

国立代々木競技場のオリンピックプラザは、今回ご紹介したように様々な変遷をたどり、今年新たにフットサルコートになりました。今後、多くの利用者で賑わい、活気づいてくれるとともに、新たに生まれ変わったオリンピックプラザが、フットサルのメッカになることを切に願います。我々としても、利用者のためのフットサルコートであることを念頭におき、管理・運営業務を委託している業者と連携し、よりよい施設運営に努力していく所存です。

「平成23年度 第9回 主要スタジアム情報交換会」報告

国立競技場では、国内主要スタジアムにおけるより良いグラウンドコンディションの維持や、施設の管理運営の方策を探り、もって良質なスポーツターフの普及・発展及び我が国のスポーツ振興に寄与することを目的とし、主要スタジアム情報交換会を年1回開催しています。

今年度は、1月24日(火)・25日(水)に国立競技場にて、全国より46施設130名が参加しました。

1日目

**基調講演(村山勉氏 社団法人
日本プロサッカーリーグ J
リーグ競技・事業統括本部 競
技・運営マネージャー)**

今年度の基調講演は、『快適で安全なスタジアム〜Jリーグの目指す運営〜』と題し、1993年5月15日よりスタートした、Jリーグについてお話をいただきました。

Jリーグの理念とは、日本のサッカー水準向上及びサッカー普及促進・豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達への寄与・国際社会における交流及び親善への貢献などを掲げています。

試合開催を土日又は水曜日と固定し、平日開催の場合は、ナイトゲームとするなど、広くサッカーに触れてもらえるようスケジュールの調整を行っているという趣旨をご紹介いただきました。

また、観客に満足と快適さを提供することを目的に、スタジアムの安全性など、各スタジアムに求める対応などが挙げられ、参加者からは理解が深まったなどの意見をいただきました。



基調講演

る問題を考察する第1分科会では、芝生維持管理の取組み事例の紹介とディスプレイションによる意見交換を行いました。

《芝生維持管理の取組み事例》

○大分銀行ドーム

(大分スポーツ公園総合競技場)

『大分銀行ドームの芝生維持管理について』

大分銀行ドームは、屋根の開閉部が小さく、半地下構造となっているため、風が通らず、高温多湿の状態が続く、それに伴う芝生の生育不良など多くの問題を抱えていました。

管理が難しいとされる状況で管理を行い、コンディション向上のために取組まれた事例など、これまでに得た情報をお話いただきました。

まず通風障害の緩和として、大型扇風機を導入し、スタジアム内の空気を循環させることで、高温多湿の状態を軽減させ芝生の回復力を向上させ、コンディションを保つ取組みについてご説明いただきました。

その他、芝生管理以外にも、自主事業である『ターフキッズ(試合前のグラウンド補修体験)』の活動事例など、大変有意義な事例紹介となりました。

《ディスプレイション》

①高温状態と芝生管理について

昨今の異常気象により、夏の猛暑が続く、寒地型芝生を管理するスタジアムは、夏越しが難しくコンディションの維持が困難な状況となつて

います。また、ウィンターオーバーシーディングを導入しているスタジアムは、秋が遅れることで冬芝の播種時期を見極めることが難しく、初期生育期に秋のシーズンが重なることで、冬のコンディションに大きな影響が出るなど、多くの問題が挙げられました。

これらの対策案として、ミストクーラーの導入など、各スタジアムの検討内容を意見交換する事で、今後の整備計画を見直すことのできる内容となりました。

②芝生張替のタイミングについて
2002年FIFAワールドカップ開催から10年が経過し、開催にあわせて整備されたスタジアムでは、芝生の劣化などによる張替えの検討時期に入っています。

張替えの検討要素としては、茎葉密度やグラウンドの硬度、水はけの問題などが挙げられます。しかし、コンディションは良好で張替えの必要がない場合でも、陸上競技場はグラウンドのせり上がりのため、日本陸上競技連盟の公認制度による検定に通らないことによる張替えも考えられます。

また、芝生だけでなく予算の確保の問題もあり、張替えのコストを下げるための対策が挙げられるなど、多くの意見交換が行われました。

③稼働日数の確保と芝生の維持管理について
芝生のコンディションを保つため



第2分科会 Aグループ

は、チームと調整を行い、利用方法について検討が行われるなど、今後の対策について、有効な情報交換が行われました。

スタジアムによっては、チームと調整を行い、利用方法について検討が行われるなど、今後の対策について、有効な情報交換が行われました。

Bグループ（収容人員3万人未満の球技専用スタジアム）では、昨今、

には、各スタジアムでもある程度の養生期間を設けた管理を行っているようです。しかし、稼働率を上げるためには、養生期間に貸出しを行うことも場合によっては必要となります。このような、芝生の過密利用に備え、園内に圃場を設けるなど、スタジアムにより様々な対策が取られています。

この様にスタジアムの抱えている問題や対策案などが挙げられ、多くの情報交換が行われました。

④ 試合前の練習等、芝生使用のあり方について

テーマ③で取り上げた、稼働率のアップに伴い、芝生利用の見直しが必要とされています。

芝生の養生期間を減らすためには、一つのイベントで与えるストレスをいかに軽減させるかが問題となります。

そのため、練習時間の徹底や選手以外の立入りを制限するなど、対策の検討がされています。

■第2分科会(管理運営部門)

スタジアムの管理運営に関する問題を考察する第2分科会では、スタジアム形態（総合スタジアム、球技専用スタジアム等）や収容人員に応じて三つのグループに分かれ、フリートークキングを行いました。

昨年発生した東日本大震災時の状況や対応を、今後の教訓として活かしていくための重要なテーマと位置付けて取り上げ、その他、『特徴的な新しい施設利用』、『施設利用時における芝生立入りの制限』、『備品貸出し時の注意事項・破損時の対応』等の各スタジアムの取組みや取扱いに係るテーマについて意見交換を行いました。

《ディスプレイ》

Aグループ（収容人員3万人以上のスタジアム）とCグループ（収容人員3万人未満の総合スタジアム（陸上競技場）では、震災後の省電力への取組みの一つとして、熊本県民総合運動公園・坂田氏より、SVOシステム（食用廃油による発電）によるナイター照明について事例の発表をいただきました。

芝生立入りの制限については、利用者の要望に対応することと芝生のコンディションを維持することの両方の観点から対応すべき問題として、各スタジアムのスタンスについて意見交換がされました。

市や県の条例により規制が更に厳しくなっている受動喫煙による健康被害への対策について、参加スタジアムからの課題テーマとして取り上げました。スタジアムの構造や周辺環境を確認し、スタジアム外やコンコースの端に喫煙スペースを設ける、テントを張るなどの実例を挙げて、抱える課題や対応策について意見交換が行われました。

その他にも、共通テーマ、参加スタジアムから挙げられた課題や質問も含め、各グループで、幅広い事案について積極的な情報交換が展開されました。

2日目

施設見学

2日目は、2013年に開催されるスポーツ祭り東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）に向けた改修工事が行われている、味の素スタジアムで施設見学が行われました。

改修工事のメインコンセプトとして、環境配慮型施設への転換・ユニバーサルデザインの充実・国際大会が可能なスタジアム作りが挙げられました。

環境配慮型では、太陽光発電屋根の設置や樹木型壁面緑化、風力発電の導入によるCO₂削減の見直しを行いました。また、太陽光発電屋根は、光透過型を採用し、芝生の生育に必要な日照を確保するなど、芝生への配慮が説明されました。

今回は、太陽光発電の導入に代表されるように、施設のエコ化が進んでいることから、今後の活動に参考になるとの意見が多く挙げられました。

終わりに

今回の情報交換会では、意見交換の場を多く設けるため、スポーツターフ部門でもディスプレイオン形式で開催しました。

今年度は、東日本大震災・夏の猛暑など、スタジアムで新たな悩みが生まれ、対策を検討している事柄も多く、各スタジアムの対応を情報共有することで、持ち帰るものも多かったのではないかと感じています。

今後も引き続き、この会が有益な情報交換の場になるよう、また、スタジアム関係者間のより良い交流の場となるよう、更なる充実に努めたいと思います。



施設見学（味の素スタジアム屋上）

女子ラグビーの現在、そして未来

財団法人日本ラグビーフットボール協会



世界を見据え、戦う女子日本代表

昨今、なでしこジャパンを代表とした女性アスリートの活躍を目にする機会が多くなっています。我々ラグビー界も一概ではなく、女子ラグビーが注目されています。

日本における女子ラグビーの歴史は古く、1988年に日本女子ラグビーフットボール連盟が設立されるまで遡ります。当時の加盟チームは15チーム。同年には、東京・駒沢陸上競技場補助グラウンドで第1回女子ラグビー交流大会が開催されました。女子ラグビーの礎を築くべく情熱を傾けた先人たちの思いを強く感じることができます。

その後、(財)日本ラグビーフットボール協会の関連団体として活動を続けてきましたが、2010年には2016年夏季五輪での7人制ラグビー正式採用を受け、女子ラグビーの競技力向上と更なる普及拡大を目的として女子連盟を発展解消する形で協会内の一委員会として女子委員会が発足しました。現在は、同委員会が中心となり日本国内の女子ラグビーの強化・普及を担う活動を行っています。

もちろん女子ラグビーが抱える課題も多くあります。大きな問題は2点、競技人口の確保と練習・試合環境の整備です。現在、日本における女子ラグビーの競技人口は2,355人(2月6日現在)。男女ともW杯で優勝しているラグビー先進国であるニュージーランドの女子選手は約

1万人。ニュージーランドに続く、イングランド、オーストラリアもこれに近い数字です。

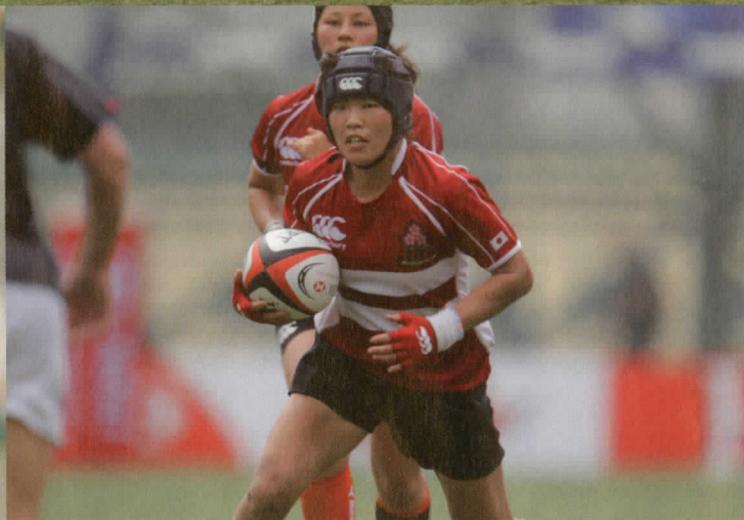
練習・試合環境の整備という点では、国内の練習環境を確保することが困難で定期的な活動が行えていないチームもあります。もちろん、男子のように企業が保有するチームもなく、全国規模で争うリーグも存在していません。様々な課題を抱えています。上記課題を克服するため多くの活動が行われています。

15人制においては、各地域でトライアウトや継続的な練習会を開催しています。今年度には、男子のジャパンラグビートップリーグの前座試合として女子日本代表セレクションマッチを関東・埼玉(熊谷)、関西・滋賀(皇子山)、九州・福岡(レベスタ)で開催し、女子ラグビーの認知度向上にも一躍を買いました。今後は、定期的な強化活動を行い、カザフスタンや香港といったアジアの強豪国との戦いを制し、2014年にフランスで開催されるワールドカップ出場を狙っています。

7人制においては、女子ラグビーの7人制ラグビーが夏季五輪に正式種目として採用されたことで強化が加速しています。タレント発掘・育成を目的としたセブンズアカデミーを始め、五輪でのメダル獲得を目指すべく多くの国際大会に参加しています。この夏季五輪の種目としてラグビーが採用されたことで、ラグ



全国各地で様々なカテゴリーの試合が開催されている



女子ラグビーの普及・認知度向上、選手の環境整備が急務

7人制は夏季五輪。15人制はW杯出場を目指す

全国的な女子ラグビーの知名度向上・競技人口増加へつなげ、そして、オリンピック出場、15人制W杯本選出場を目標に戦っていくには、幅広い年齢層の育成が重要になります。このため若年層へのアプローチも各種カテゴリーで行われ、高校生は2009年度より毎年12月に大阪・近鉄花園ラグビー場で開催される全国高校大会の前座で7人制のエキシビジョンマッチを開催しています。更に、今年度より(株)神戸製鋼所の支援を受け、

ピーでオリンピックを目指したいと他競技からの競技転向をする選手たちも増えてきました。これにより、高いモチベーションを持った選手たちによる切磋琢磨した中で代表候補選手の選出が可能となり、競技レベルの向上につながっています。

来る3月31日・4月1日に秩父宮ラグビー場で開催される「東京セブンズ2012」の大会期間中にも女子ラグビーの試合が行われます。今後とも出来る限り全国的に広範囲で女子ラグビーの試合を開催し、多くのラグビーファンの皆様に試合をご覧いただきたいと考えています。(財)日本ラグビーフットボール協会では、女子ラグビーの強化・普及を通じ、日本ラグビー界全体の活性をすべく邁進してまいります。引き続き、日本女子ラグビーに温かいご支援をよろしくお願いいたします。

夏の聖地・長野県菅平高原で「第1回全国高等学校女子7人制ラグビーフットボール大会」を開催し、全国から150名の女子選手を集め盛大に開催されました。花園の大会も3年目となった今年は「U18花園女子セブンズ」として名前を変え、全国各地で開催されたセレクションマッチ、合同練習会等で評価・選出された選手たちが2つのカテゴリーで東西に分かれ開会式直後の大観衆を前にして試合を行いました。

中学生も、「太陽生命カップ2011 第2回全国中学生ラグビーフットボール大会」の大会期間中にU15女子7人制エキシビジョンマッチとして関東・関西・九州・茨城県(開催県代表)の4チームがトーナメント戦を実施し、大会を盛り上げました。

地震災害に備えて

国立スポーツ科学センター防災訓練レポート

JISSで初の全スタッフ参加の防災訓練実施

2011年12月14日(水)、国立スポーツ科学センター(JISS)において初めてとなる、全スタッフ参加による全館避難型の防災訓練を行いました。

これまでJISSでは、直接的に消火活動・避難誘導等に当たる自衛消防隊員と避難用の人員のみで火災発生を想定した訓練を実施してきました。しかし、3月11日に東日本大震災が発生した際に各スタッフが地震発生時の基本的な行動などが分からず、迅速な行動が取れなかったこと等の反省があり、スタッフの自主的な防災意識と対応技術の向上を目的として、今回初めて全スタッフ参加で地震発生を想定した防災訓練を行うこととなりました。

JISSでは普段から多くの選手やコーチが施設を利用するため、勤務するスタッフは、自分の身の安全を確保することはもちろんのこと、選手・コーチなど利用者を安全に避難誘導することも求められます。これまで1階の運営部スタッフが地下1階から7階まで全フロアの避難誘

導を行う体制を取っていましたが、先日の大震災発生時には、避難誘導はおろか、それぞれの持ち場への到着にも非常に時間がかかり、その結果、避難の完了及び確認作業が遅れました。そのため、各フロアに分けてそれぞれの階に常勤しているスタッフを避難誘導や連絡担当として割り当て、部屋の破損状況やケガ人の有無などを確認し、迅速に避難誘導を行うことのできる体制へと変更しました。

迅速な情報収集と安全な避難誘導

訓練は、地震発生(想定)を知らせるアラーム放送から始まり、事前配布したヘルメットを着用して机の下に隠れて身の安全を確保します。揺れが収まると同時に、自衛消防隊の各班長は防災センター(中央監視室)に集まり対策本部を設置、スタッフや利用者の怪我の有無や各部屋の被害状況などの情報を収集します。各フロアに配置された連絡担当のスタッフは、支給されているPHSを使用して防災センターへ被害状況などを速やかに連絡します。

情報の収集が終わると同時に、利用者・スタッフの避難誘導を実施します。しかしながら、全フロアで同時に誘導を行うと、館内の滞在者数が多いために階段付近などで渋滞が発生して避難行動に重大な支障をきたす恐れがあるため、時間差でエリアごとに分けて誘導を行いました。館内から、最終避難場所として設定した西が丘サッカー場駐車場に集まった参加者は、最終点呼を行い、同部屋のスタッフや同じフロアに勤務する同僚の逃げ遅れや怪我人の有無を確認しました。

訓練終了後は、北区役所及び赤羽消防署の協力のもと、起震車体験と消火器の模擬訓練を行いました。東日本大震災発生時に最も震度の大きかった地域の揺れを再現した起震車では、震度7の揺れを数秒間体験することができ、参加者は揺れの大きさに驚いていました。一方の消火器模擬訓練は、これまで火災訓練を何度か行ってきたこともあり、参加者のほとんどは、慣れた手つきで消火器を扱うことができました。

実施して分かった様々な課題

今回は初めて地震を想定した訓練ということで、想定する地震の規模や避難場所の設定など、赤羽消防署と協議しながら試行錯誤の中で訓練となりました。その結果、実施す

るまでは分からなかった様々なことが判明しました。利用者だけでなく常勤スタッフにも非常階段の場所が認知されていなかったり、全館放送のアナウンスが聞き取りにくく、避難開始のアナウンス前に避難を開始してしまつたフロアがあったりと、全体的に統一された行動をとることができませんでした。こうした小さなほころびの一つ一つが、結果として重大な事故などを生むこととなります。選手やコーチなど利用者はいかに迅速に安全な場所へ誘導するのかなど、今後のクリアすべき課題は少なくありません。

巨大地震は突然に、しかし確実に我々の足を揺らします。今後30年間で、関東大震災クラスの地震が発生する確率は70%強とも言われています。日ごろから防災への意識を高く持ち、いつ何どき、地震に限らず、様々な災害が起きてても冷静沈着な対応ができるように、これからも訓練を重ねていきたいと思います。



2012年 ロンドンオリンピック通信

NAASH ロンドン事務所

1. はじめに

英国では、歴史が古く今もなお絶大な人気を誇るサッカーとテニス。イングランドプレミアリーグは世界中からファンを獲得し、マンチェスターユナイテッドやアーセナルといったビッグクラブになれば、必ずスタジアムが超満員になるほどの人気ぶりです。英国のテニスと言えばウィンブルドンテニス選手権でしょう。ロンドン南部で行われるこの大会は期間中に観客動員数が50万人以上に上り、チケットの入手が非常に困難なことでも有名です。

この二競技もロンドンオリンピックで行われます。各地域にある優れたサッカースタジアムと世界最高のテニスコートで行われる各試合は、ロンドンオリンピックの盛り上げに一役買うことは間違いないでしょう。



オールドトラフォード
マンチェスターユナイテッドのホームスタジアム

2. サッカー

競技は、イングランド内で4、スコットランド及びウェールズで1つずつの計6スタジアムで行われます。決勝が行われるウェンブリースタジアムは、ロンドン北西に位置し、イングランド代表のホーム試合が行われるイングランドサッカー界の聖地です。約9万人の収容が可能で、ヨーロッパで2番目の大きさを誇ります。同スタジアムは、1948年ロンドンオリンピックのメインスタジアムとなり、その後1996年FIFAワールドカップの決勝の地として使用された旧ウェンブリースタジアムを取り壊し、その場所に新しく建設されたスタジアムです（2007年オープン）。

サッカー発祥の国である英国では歴史的にイングランド、スコットラ



ウェンブリースタジアム

ンド、ウェールズ、北アイルランドの各地域でサッカー協会が分かれており、それぞれが代表チームを構成します。ただし、今回自国開催になることにより英国統一チーム「Team GB」を組織することが決まりました。

男子サッカーでは、オーバーエイジ枠として23歳以上の選手を3名までとすることが決められており、英国ではその枠に誰が入るのかという話題がメディアを賑わせています。

出場権を獲得し、メダルが期待される日本女子サッカーも、英国各地に広がる優れたサッカースタジアムで熾烈な戦いを繰り広げます。

ロンドンオリンピックで利用されるサッカースタジアム(場所/収容人数)	
イングランド	■ City of Coventry Stadium (Coventry/32,604人)
	■ Old Trafford (Manchester/75,795人)
	■ St James' Park (Newcastle-upon-Tyne/52,409人)
	■ Wembley Stadium (London/90,000人)
スコットランド	■ Hampden Park (Glasgow/52,063人)
ウェールズ	■ Millennium Stadium (Cardiff/74,343人)

3. テニス

オリンピックでのテニス競技は、4大国際大会（全豪オープン、全仏オープン、ウィンブルドン選手権、全米オープン）と同様、テニス界にとって重要な位置付けとなっております。



センターコート外観

4大国際大会との大きな違いは、国別に出場枠が設けられていることです。また、ロンドンオリンピックでは、1924年以降種目となっていない男女混合ダブルスが復活することになりました。

競技会場は、ウィンブルドン選手権と同じオールイングランド・ローンテニス・アンド・クローケータークラブで行われます。テニス選手の憧れの地であるセンターコートを含む合計19コートの英国最大のテニス複合施設で、熱戦が繰り広げられます。

博物館での冬の展示会

秩父宮記念スポーツ博物館



全国スポーツ写真コンクール

「君の一生けんめいに会いたい」のスローガンのもとに開催された「おいでませ！山口国体」に際しての写真コンクールの作品です。全国のスポーツ写真愛好家達が撮った種々様々な作品群の中から展示スペースの都合により、金賞・銀賞・銅賞の展示となっております。肉体の躍動感を捉えた瞬間や、スポーツにひたむきな姿勢、スポーツを通じて生まれる人の輪等、一枚一枚にいろいろな味わいがあります。どの作品にも「おいでませ！山口国体」のスローガンである「君の一生けんめいに会いたい」という趣旨が伺え、写真を通じて元気を貰えるような気持ちになります。

展示期間は3月31日までを予定しております。



稲田悦子さんのユニフォーム

続いて博物館の展示品についてご紹介します。冬の名残のまだ去りやらぬ時候、冬季スポーツもまだまだ盛り上がりを見せております。3月末には世界フィギュアスケート選手権がフランスのニースで開催されますね。冬季スポーツの華、かくも美しき氷上のスポーツ、フィギュアスケート。皆さんは日本の女子フィギュアスケートの先駆者として活躍された稲田悦子さんをご存知でしょうか？博物館では稲田悦子さんがオリンピックの舞台で着用されたユニフォームを展示しております。白い服に赤いカーネーションがチャームミグなユニフォームは、1936年、ドイツで行われたガルミッシュユバルテンキルヒェンオリンピックに出場された時に着ていた衣装で、当時、稲田悦子さんは12歳でした。実物のユニフォームを見ると少女の小柄さが窺えますよ。

世界フィギュアスケート選手権が盛り上がる中で、日本が誇る昔日の氷上のスターに思いを馳せてみるのも一興ではないでしょうか。

国際化への対応

国立登山研修所

第2回日本・中国・韓国・国際登山技術交流研修会が、1月14日（土）～20日（金）の日程で、東京及び国立登山研修所で、日本山岳協会が主催、国立登山研修所が後援し開催されました。

近年は、登山者の国際交流が盛んになり、多くの登山者が隣国を相互に訪れるようになりました。そこで、中国登山協会が登山事故を研究し、山岳救助システムの作成を目的に、第1回国際セミナーを中国で開催しました。中国の山岳は高所、韓国は岩と氷、日本は深雪という特徴を持っており、第2回は、「積雪のリスクと雪崩の回避および雪崩事故の捜索救助技術」をテーマに、日本でも有数の豪雪地帯である立山での開催となりました。

また、国立登山研修所は、平成22年10月27日に大韓民国国立公園管理公団国立公園生態探訪研修院（旧山岳安全教育センター）と事業協力に関する協約書を締結しており、本年度は、10月28日から5日間の日程で大韓民国国立公園管理公団国立公園生態探訪研修院を答礼訪問しました。11月に開催した第2回安全登山普及指導者中央研修会には、大韓民国研修団4名が参加し、日本の高い



第2回日本・中国・韓国・国際登山技術交流研修会 講義「雪崩のリスクと回避」



第2回日本・中国・韓国・国際登山技術交流研修会実技「雪崩発生から捜索・救助・搬送シミュレーション」

レベルの技術や理論、安全登山に関する意識を学びました。今後とも、登山指導者の養成機関として、国際交流事業や国際的な研修会での施設利用を益々促進させ、世界的な評価を得ながら国際化に対応していきたいと思っております。

JISS徹底解剖

～第5回～

今回は、国立スポーツ科学センター（JISS）4階にあるトレーニング体育館・低酸素トレーニング室、5、6階にある宿泊室、7階栄養指導食堂を紹介します。

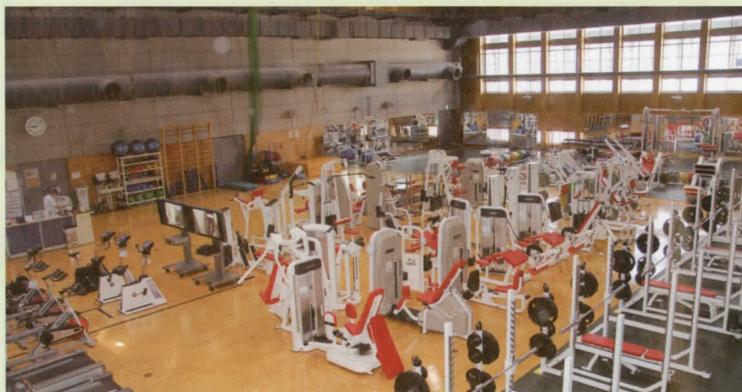
■4階

〔トレーニング体育館〕

競技者の基本的なフィットネス、主として筋力、筋パワー、乳酸性能力および有酸素性能力を向上するためのトレーニング施設です。

フロアは、マシントレーニング、フリーウェイトトレーニング、および有酸素性トレーニングのエリアに分かれています。各エリアにはそれぞれ特徴的なトレーニングマシンが設置され、競技特異的なトレーニングから一般的なトレーニングまで実施できる設備となっています。

専門性の高いトレーニング指導員が配置され、各競技種目のトレーニングプログラムの作成、指導およびトレー



アスリートのパフォーマンス向上の一役を担うトレーニング体育館

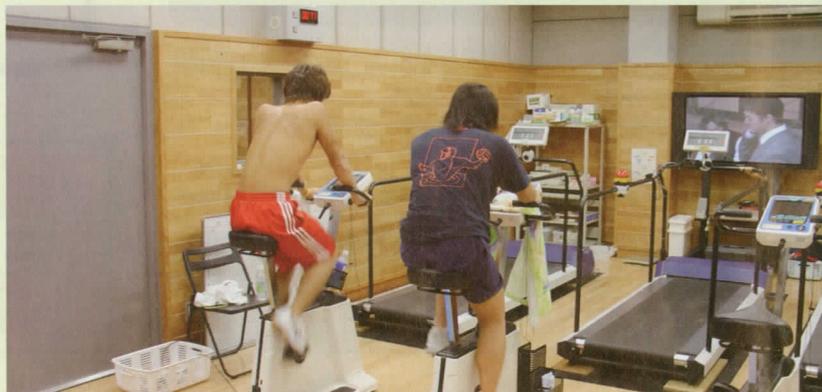
ニング効果の評価が行われます。付帯設備として、各種専門的トレーニングマシンが設置されています。

〔低酸素トレーニング室〕

低酸素合宿室と併せて、常圧下の低酸素環境条件でのトレーニング施設として利用される、11m×5.5mの床面積で天井高2.6mの空間です。

酸素濃度は、17・4%～13・6%（高度1500m～3500m相当）の範囲で0.1%（高度50m相当）単位で設定することができます。

対象人数は中程度の運動強度で10名まで可能です。二酸化炭素濃度の上限を設定することにより、警報ランプおよびブザーで安全管理されています。



高地トレーニングが可能な低酸素トレーニング室

■5・6階

〔宿泊室〕

通常の宿泊室としてのみでなく、常圧下の低酸素環境条件での居住空間として利用することが可能です。低酸素濃度に設定可能な宿泊室は5、6階に72室あり、1部屋当たりの広さは、奥行き4.5m、幅2.9m、天井高2.5mとなっています。

酸素濃度は16・8%～14・4%（高度1800m～3000m相当）の範囲で0.1%（高度50m相当）単位で設定することが可能です。各宿泊室の酸素および二酸化炭素濃度は、6階の宿泊

管理室の表示盤で一括監視され、異常が発生した場合にはすぐに確認することが可能です。

■7階

〔栄養指導食堂〕

競技者が高度なトレーニングを行い、競技会で最高のパフォーマンスを発揮するためには、適切な栄養摂取が必要です。競技種目やポジション、トレーニング内容、身体組成、体調、シーズン等に応じたスポーツ栄養学の理論に則った適切な食事が提供されます。

カフェテリア（一部バイキング）方式で、1日当たり4000kcal以上の食事を摂ることができるほか、減量食や補食等を提供することもできます。また、食べた内容を入力すると、その場で栄養バランスを分析することができます。栄養チェックシステムが設置されており、スポーツ専門の管理栄養士による個別栄養指導を受けることもできます。

今号でJISSの紹介は終わりとなります。

ロンドン五輪まであと4か月余り。今まで本誌で紹介した施設を使って、選手は、昼夜を問わず練習に励んでおります。

日本選手が五輪に最高のパフォーマンスで臨めるように、JISSは一丸となって選手をサポートしております。皆さんも応援しましょう！
ガンバレ！ニッポン！



国立競技場

- FUJI XEROX SUPER CUP2012
柏レイソル vs FC東京 3/3
 - 第49回日本ラグビーフットボール選手権大会
準決勝 3/11
 - 男子サッカーロンドン五輪最終予選
U-23日本代表 vs U-23バーレーン代表 3/14
 - 第49回日本ラグビーフットボール選手権大会 決勝/
サントリーカップ第8回全国小学生タグラグビー選手
権大会 決勝 3/18
- ※1月中旬より3月下旬まで、トラック走路改修工
を実施しています。

秩父宮ラグビー場

- サントリーカップ第8回全国小学生タグラグビー選手権大会
予選 3/17
- HSBCセブンスワールドシリーズ 東京セブンス2012
予選 3/31
決勝 4/1

西が丘サッカー場

- 第22回イギョラ杯国際親善ユースサッカー 3/20
- 第11回全国シニア大会・Over50/
第4回春季シニアサッカー選手権大会・Over60
3/25

改修工事を実施している施設においては、日頃よりご利用
いただいている皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、皆さ
まのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

代々木競技場第一体育館

- PUMA CUP 2012
第17回 全日本フットサル選手権大会 3/16~18
 - * TOKYO RUNWAY 2012 SPRING/SUMMER 3/20
 - V・プレミアリーグ 男女 ファイナルラウンド 3/24~25
 - 「東日本大震災」被災地復興支援
第43回 全国ミニバスケットボール大会 3/28~30
 - * 世界フィギュアスケート国別対抗戦 4/19~22
- ※改修工事のため、3/1~3/14の開催行事はござ
いません。

代々木競技場第二体育館

- JBL2011-2012 3/16、24~25
 - * 第23回全日本テコンドー選手権大会 3/17~18
 - 第43回全国ミニバスケットボール大会 3/28~30
 - * POINT&K.O.第27回空手道選手権大会 4/28~29
- ※改修工事のため、3/1~3/14の開催行事はござ
いません。

なんと! 当たりたいなら買うしかない!
最高6億円^{*}くじ BIG
大好評販売中!!

※キャリーオーバー発生時、通常は1等最高3億円。
当せん金は、売上金額や当せん回数によって変動します。

スケジュールは変更になる場合がありますので、ホームページ等で必ずご確認ください。

<http://www.naash.go.jp>

- 陸上競技
- サッカー
- ラグビー
- バスケットボール
- コンサート
- 卓球
- バレーボール
- * その他

- 国立競技場 (☎ 03-3403-1151)
- 秩父宮ラグビー場 (☎ 03-3401-3881)
- 国立代々木競技場 (☎ 03-3468-1171)
- 西が丘サッカー場 (☎ 03-5963-0203)

編集後記

毎日寒い日が続いていますが、本号がお手元に届く頃には草木も芽
を吹き出していることでしょうか。

毎年この時期になると、或るところ(埼玉県のみ)では近隣の専業
農家、はたまた野菜作りを趣味としている人たちが挙って畑の土おこしを
始める。我が家として例外ではなく妻と息子そして私の3人で、トラクター・
歩行型耕運機、作物によっては「小マメ」と言って歩行型の小さな耕運機
を駆使して種撒き及び苗植えの準備をする。その年によって多少異なるが20
~30種類の野菜を手掛けているので休日は結構楽しく過ごせる。

また、我が家では出荷をしていないことから、ハウス栽培と違って
露地栽培(自然栽培)耕法なので、落花生及びさつまいもなどは野生
動物(イノシシ・ハクビシン等)の餌になってしまうことがしばしば
である。その上露地栽培では、天候によって作物の出来具合が大きく
左右されることから必然的に毎年の収穫量が異なる。

さて、今年の収穫量は……。(S)

国立競技場 第590号

2012年3月1日発行(隔月発行)

[編集・発行]

独立行政法人

日本スポーツ振興センター

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町10番2号

tel (03) 3403-4151 (運営調整課)

[編集・発行人]

堀部 定男